



【一般公開講義】

「国連機関と開発協力」

～インサイダーの視点から～

名古屋学院大学国際文化学部では、6月27日(火)10時55分～12時25分、本学名古屋キャンパス白鳥学舎希館4階403教室にて、高瀬 千賀子氏(国際連合地域開発センター所長)を招聘し、公開講義を実施します。一般の方も入場無料・事前予約不要でご参加いただけます。

【講義の内容】

国際連合(国連)は、数ある国際機構の中でも190カ国以上が加盟している最大の国際機構です。幅広い活動の中でも、安全保障と平和維持、開発と貧困削減、人権保護の三つを柱として、より良い世界を目指しています。持続可能な開発やユネスコの世界遺産保存、ユニセフの子供のための活動などはよく知られている活動です。今回は、国連勤務30年のベテラン職員から、インサイダーの視点で国連について学びます。国連への期待と、将来性に関する事柄、また、インサイダーならではの裏話も聞くことができます。

【講師プロフィール】

■ 高瀬 千賀子(たかせ ちかこ)氏

国際連合地域開発センター(UNCRD)所長。国連工業開発機関(在ジャカルタ)においてアソシエイトエキスパートとして勤務後、1984年10月より国連事務局に勤務。国際経済社会局開発研究・政策分析部では中期予測を担当、マクロ経済・社会政策分析部では基幹出版物World Economic Surveyの執筆に関わる。その後、政策調整・持続可能な開発局持続可能な開発部に移り、主に消費・生産の持続可能な行動への移行を担当する。この間、生物多様性条約事務局に約3年間勤務。国連に戻り、ヨハネスブルグ(南アフリカ共和国)で行われたWorld Summit on Sustainable Development(2002年)の準備および開催に携わる。UNCRD所長就任前は、国連経済社会局経済社会理事会支援・調整部において政策調整課副課長(政策分析担当)として主に経済社会理事会の運営に携わる。1981年国際基督教大学卒(教養学士)、1982年英国サセックス大学大学院修士課程卒(開発経済学修士号)。2011年3月より所長代理、2012年2月より現職。



【一般公開講義】 国連機関と開発協力～インサイダーの視点から～

- 開催日時 : 2017年6月27日(火) 10:55～12:25(開場 10:45)
- 開催場所 : 名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎希館4階403教室  
(〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号)  
※地下鉄名港線「日比野駅」、名城線「西高蔵駅」徒歩約8分 駐車場はありません
- 定員 : 30名程度(入場無料・事前予約不要)
- 主催/担当: 名古屋学院大学国際文化学部/長田 こそえ 教授  
(元 国連ユネスコ パキスタン事務所長)